

鳥インフルエンザ等発生時対応訓練を実施しました

県南広域振興局土木部 一関土木センター

令和6年10月16日、高病原性鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病が発生した際の防疫活動を円滑に支援するため、地域における防疫体制の強化を図る目的で、一般社団法人岩手県建設業協会一関支部及び岩手県県南家畜保健衛生所と共に訓練を実施しました。

「岩手県鳥インフルエンザ等発生時対応要領」に基づき、土木センターは埋却・消毒ポイント設置班、建設業協会は、県と締結した「家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定」に基づき、重機・資機材の調達・斡旋や家畜の埋却作業等に従事することとなっています。

訓練では、鳥インフルエンザの発生を想定し、防護服着脱、埋却作業（シート敷設、フレコンバック投入、消石灰散布等）を実施しました。

約80名が参加し、埋却作業の実施手順等を確認しました。

県、建設業協会支部及び関係機関では、家畜伝染病の発生に備え、迅速かつ適切に防疫活動を実施できるよう、実動訓練を通じ、防疫対応の体制整備等に努めています。

防疫対応作業について、県民の皆様の御理解と御協力をお願いします。

🐦 令和6年度鳥インフルエンザ等発生時対応訓練（一関地方支部実動訓練）実施状況 🐦



防護服着用訓練



埋却訓練（シート敷設）



埋却訓練（フレコンバック投入）



埋却訓練（消石灰散布）